

第三回国連防災世界会議パブリックフォーラム「ジオハザード軽減に向けた地球科学の人材育成：防災国際ネットワーク構築」を開催しました（2015/3/15）

テーマ：ジオハザード，地球科学，防災ネットワーク
場所：東北大学

2015年3月15日に、「ジオハザード軽減に向けた地球科学の人材育成：防災国際ネットワーク構築」と題するワークショップを，災害科学国際研究所，日本学術会議（地球惑星科学委員会 IUGS 分科会），産業技術総合研究所の共同主催として開催しました。このワークショップでは，地震，津波，地滑り，火山災害等の地質災害を被る可能性が高い国々に対して，日本をはじめとする国々がどのようにして科学的なノウハウの移転を行うか，その問題点と仕組みづくりを議論しました。

ワークショップには14カ国72名が参加しました。アジアからは，日本，中国，台湾，フィリピン，ベトナム，タイ，インドネシア，スリランカ，トルコ，その他の国として，チリ，ニュージーランド，フランス，ドイツ，アメリカ合衆国から参加者がありました。

講演に対する質問や総合討論での話の中で，多くの参加者から日本のさまざまな経験を開発途上国におけるジオハザード軽減に役立ててほしいという期待が述べられました。



ワークショップの様子

文責：後藤 和久（災害リスク研究部門）